

【目次】

- 大事な児童生徒情報のリレー
- 新学習指導要領と防災教育

●大事な児童生徒情報のリレー

新年度に向けて、児童生徒情報の引継ぎ準備は進んでいますか。新しい学年へはもちろんのこと、小から中、中から高の校種間の引継ぎも大事です。この引継ぎに有効な、不登校・心的要因・家庭環境など支援が必要な児童生徒に対し作成する「児童生徒支援シート」は活用できていますか。適宜、必要な情報をシートに書き加え、クラス替えや担任の交代、中1ギャップや高1クライシス等に備えるとともに、新年度からの適切な支援に向け、バトンをつなぎましょう。

●新学習指導要領と防災教育

東日本大震災等を踏まえ、新学習指導要領では防災教育に関する内容が拡充されています。例えば小学校の理科では、5・6年生で降雨や河川の流水によって地形が変化することや梅雨前線による大雨などの気象現象について、これらの現象が水害や土砂災害の原因となることや、災害に備える対策についても取り扱うようになっています。

この4月から年次進行で実施される高校では、新たに必修とされた教科「地理総合」において防災教育を本格的に学びます。地理で防災を扱うねらいは、「人間と自然環境との相互依存関係」を扱う科目であり学習する内容が防災と親和性が高いことや、小学校から高校までの学習内容を見通せる防災教育ができることなど言われています。先だって、文部科学省の安全教育調査官とお話をする機会がありましたが、「地理総合」の必修化が防災教育に関する目玉の施策であるとのことでした。

各高校では、「地理総合」を学校安全計画に位置づけることが必要になります。授業では、身近な地形と災害リスクを取り扱ったり、近年の災害被災地を地理院地図で調べたりといった主体的・体験的な防災教育の工夫が求められます。学校安全・安心支援課事業の「学校防災出前講座」も授業に対応できますので積極的にご活用ください。

1年間メールマガジンを読んでいただきありがとうございました

◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/vdk9zKeA>

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課 (URL : <http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>)